

コービー・ブライアント氏事故死

元NBAスター選手、ヘリ墜落で



コービー・ブライアント氏 (ゲッティ=共同)

【ロサンゼルス共同】米プロバスケットボールNBAのレーカーズ一筋で2015〜16年シーズンまでプレーし、史上4位の通算3万3643得点を記録した元スター選手のコービー・ブライアント氏(41)が事故死した。26日、複数の米メディアが報じた。米ロサンゼルス近郊で搭乗中のヘリコプターが墜落し、ブライ

アント氏と13歳の娘ジアナさんを含む9人全員が死亡した。(7面に関連記事)
地元紙ロサンゼルス・タイムズ(電子版)によると午前9時(日本時間27日午前2時)すぎに出発したヘリは10時ごろ、直線距離で約100キロ離れたロサンゼルス西部の山に墜落。当時は霧が立ちこめていた。
ブライアント氏は高卒新人だった1996年にデビュー。卓越した得点力と感情を表に出すスタイルでスターダムにのし上がった。シャキール・オニール選手と共に果たした99〜200

0年シーズンからの3連覇を含む、計5度のリーグ優勝に貢献。オニール氏は同日、ツーショット写真と共に「今のこの痛みを説明する言葉はない」とツイートし、元僚友をしのんだ。
オールスター戦には18度選出。米国代表でも活躍し、五輪では08年北京、12年ロンドンと2大会連続で金メダルを獲得した。父のジョー・ブライアント氏も元NBA選手で、旧bjリーグの東京などで監督を務めた。

2020. 1. 27 (月)
神戸新聞分



米ロサンゼルスで神戸大使の委嘱を受け笑顔を見せるコービー・ブライアント氏=2001年12月

名前が縁、神戸大使に就任

米ロサンゼルス近郊で、ヘリコプターによる事故死が報じられた米プロバスケットボールNBAの元スター選手コービー・ブライアント氏(41)。関係者によると、名前の「Kobe(コービー)」は、元NBA選手で、旧bjリーグなどで監督も務めた父親のジョー・ブライアント氏が好物だった神戸ビーフにちなんで名付けられたという。その縁で、阪神・淡路大震災から3年後の1998年8月に神戸市役所を訪問。当時の笹山幸俊市長に、「福祉に使ってほし

い」と、チャリティー行事で集めた約48万円を手渡した。
2001〜11年には、著名人に神戸を世界にアピールしてもらう「神戸大使」に就任。「神戸を励ますことができるのは非常にうれしい」と就任時にメッセージを寄せていた。

馴染みある人は だんだん少なくなっていますか
世界に誇るスーパースターの命が、コロナ禍の前に
起こりました。バスケットボール界だけでなく 深い悲しみの
ニュースになったのは 彼の手柄によるものですが。ご冥福を。